

## よい眼・よい耳（大屋町加保）

さあ、昔、昔いうても、つい二、三年前のことかも知れんが、ムクロ（モグラ）のやつめ（けなすことば）が「隣村へ行こう。」思って、モクモク・モクモク穴を掘って行きよったら、ドスンと、大うけな、大うけな音がしたそうな。せえで（それで）、ムクロが「何じゃろう。」思って、土の上へ顔を出すと、トウビ（トンビ）がピーンヒョロ、ピーンヒョロ鳴きもって（ながら）、雲の上で輪をかいとる。ムクロが、

「トウビさん、トウビさん。今の大うけな音は、何じゃろう。」いうて尋〈たず〉ねると、トウビは、「何をこわがるじゃえ。あれはナ、ブト（ブヨ）のまつ毛が落ちたんじゃ。」いうたそうな。

